

所 属	健康福祉環境部 薬務課		
担当(係)名	生産指導監視係	内 線	2573

(款)4 衛生費	(項)5 薬務水道費	(目)(2) 薬務費
(明細書事業名) 薬事費 かかりつけ薬局「薬食同源」拠点整備事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

500

2 当初予算(決定)額(千円)

500

【財源内訳】

一般財源

(前年度 1,284)

500

3 事業概要

県民の健康情報ニーズに対応するとともに、健康立県ぎふづくりの5つの柱のうち、医食同源の励行と早期発見・早期治療の実行を推進するため、県民にとって身近な医療機関である「かかりつけ薬局」を「薬食同源情報サロン」として整備する。また、健康食品を中心とした県民の相談に対応するため、アドバイスを行う薬剤師を「薬食同源アドバイザー」として育成し、情報サロンを関連情報の受発信拠点として活用することにより、県民の健康増進、健康維持に寄与していく体制づくりを行う。

4 施策の効果

- (1) 県民が身近で健康食品等についての正しい情報を入手することができる。
- (2) 県民のセルフメディケーションの推進に寄与することができる。

5 要求の内容

県薬剤師会が実施する次の事業に対し補助を行う。(補助率1/3)

薬食同源研究会の開催・運営

・県薬剤師会内組織として事業の実務を担当し、進行管理する。

薬食同源アドバイザー研修会等の開催

・アドバイザーとしての資質の維持向上を図るための研修会を開催する。

薬食同源情報サロンの設置・運営

・アドバイザーがいる薬局を薬食同源情報サロンとして健康食品等の相談の場所として整備、活用する。

薬食同源情報ネットワークの管理・運営

・各情報サロン間で情報の標準化、共有化を図るネットワークを管理運営する。

県民への事業の普及啓発

・県民に事業の普及啓発を行い、情報サロンの利用を促進する。

6 用語の解説

医(薬)食同源・・・病気を治療する(医、薬)のも、日常の食事をする(食)のも、ともに生命を養い、健康を保つために欠かせないもので、源は同じ(同源)という意味で、毎日の食事の大切さを表している。

セルフメディケーション・・・食事、運動、健康診断等により自分の健康は自分で守ること。